その2

地域に必要な取り組みを、自分たちで「ツクル」ために…

社会福祉協議会は、毎年『地域人材育成講座』を開催しています。今年度は、従来の講演形式で知識や情報を得るための「福祉マナブ講座」に加え、新たに地域での具体的な助けあいの仕組みづくりに取り組むための「福祉ツクル講座」を始めました。

初年度である今回は、3つの自治区が参加。野間一区は、子どもや子育て世代をまき込んだ地域づくり、野間二区と東高倉区は困りごとに対する有償の助けあいの仕組みづくりがテーマです。

月1回、3自治区が集まってお互いの進み具合や意見を交換する【集合研修】や、新宮町への視察研修とともに、職員が何度も公民館や区長宅等を訪ねて【実践研修】を重ねることで、それぞれの状況やペースに合わせて具体的に取り組みを進めることができました。講座は終了しましたが、現在も実現に向けて協議を継続中です。

今回の話し合いの場では、各区の取り組みに至った経緯や苦労話などの発表を行い、参加者からは「町内の身近な区で取り組まれていることに驚いた」「まねできることもあり、自分の地域でも何かやりたい気持ちになった」という声が聞かれました。その気持ち、社会福祉協議会が応援します。

制度やサービスだけでは解決が困難な課題も、知恵を持ち寄ればできることがきっとあるはずです。次は、あなたの地域の番です。いま必要とされる取り組みを、私たちと一緒に創り出していきましょう！

「福祉ツクル講座」３自治区の想い

野間一区
区長　津川　俊一さん

やってみないと、わからない！

初めて「ジュニア版ふれあいサロン」として子どもたちのみを対象としたバスハイクを行い、保護者からも好評でした。
何が喜んでもらえるか手探りですが、若い世代ともコミュニケーションをとりながら企画を考えています。
ゆくゆくは「区に入ってよかった」と感じ、自分たちから参加したくなる地域になればと願っています。

東高倉区
区長　山本　徹さん

「ふれあい」こそ、助けあいの基本

日常の小さな困りごとに対する、有償での助けあいの仕組みづくりに取り組んでいます。取り組みを進めるごとに「助けあいを広げていくためにも、今以上にお互いに知り合う機会が必要である」と感じ、毎月定例のカフェやカラオケ、全区民対象のマルシェなど、日常の活動と一体的に考えていきたいと思っています。

野間二区
区長　藤江　清孝さん

必要な今、動きながら創っていく

区内の全世帯を対象としたアンケートを実施したところ、具体的な困りごとや必要な助けあいが見えてきました。
それに基づき、有償での助けあいの仕組みづくりに取り組んでいます。
今後、必ず必要な活動だと思うので、まずはできることから取り組みをはじめ、利用する人も支える人も、みんなで形を創っていこうと思っています。

次回の「話しあいの場」３月開催予定

次回は、どんな素敵な地域の
取り組み事例が飛び出すか…
地域の居場所（ふれあいサロン）
応援事業所リストも配布予定！
みなさんぜひご参加下さい！